

令和２年度大船渡市立公民館運営審議会

日 時 令和２年７月６日（月） 午後２時～

場 所 大船渡市民交流館・カメラアホール
多目的ホール

【 次 第 】

１ 開 会

２ あいさつ

（委員、事務局職員の紹介）

３ 副会長の選任について

４ 報 告

報告第１号 令和元年度公民館事業の実施状況について

５ 協 議

協議第１号 令和２年度公民館の事業計画について

６ そ の 他

７ 閉 会

大船渡市立公民館運営審議会委員名簿

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

役職名	氏 名	在任年数	委 嘱 区 分	所 属 等
会長	三 浦 昌 弘	6 年	学識経験者	元 中 学 校 長
委員	薄 衣 裕 昭	1 年	学識経験者	元 小 学 校 長
委員	志 田 倫 代	4 年	学識経験者	元 小 学 校 教 諭
委員	鈴 木 博	1 年	学校教育関係者	大船渡東高校校長
委員	細 川 佳 紀	1 年	学校教育関係者	赤崎小学校校長
委員	今 野 晋 司	8 年	社会教育関係者	元下欠地域公民館長
委員	新 沼 崇 久	6 年	社会教育関係者	元大船渡青年会議所理事長 海来プロジェクト代表
委員	佐 藤 善 公	3 年	社会教育関係者	千歳部落会長
委員	前 川 里 華	4 年	社会教育関係者	NPO法人おはなしころりん所属 元小学校PTA役員
委員	舟 野 ひとみ	2 年	社会教育関係者	元大船渡市職員 元大船渡市芸術文化協会事務局長
委員	佐々木 晋	2 年	社会教育関係者	元猪川小学校PTA 会長 大船渡商工会議所総務部次長
委員	平 田 睦 子	2 年	社会教育関係者	浦浜西区地域会文化部長 大船渡市観光物産協会職員
委員	朴 澤 和 子	6 年	家庭教育関係者	元 幼 稚 園 教 諭 人形劇サークル代表
委員	村 上 泰 子	4 年	家庭教育関係者	元こども園園長心得 市地域婦人団体連絡協議会理事 綾里婦人会会長
委員	志 田 真理子	4 年	家庭教育関係者	児童家庭支援センター大洋所属 元市家庭児童相談員

※ 在任年数は、任期終了後（令和3年3月31日）までの通算年数。

社会教育法 抜粋

(公民館運営審議会)

第 29 条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあっては、公民館運営審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の定数、任期その他必要な事項は、市町村の条例で定める。

大船渡市立公民館設置条例 抜粋

(審議会の設置)

第 4 条 法第 29 条第 1 項の規定に基づき、公民館に大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(審議会の委員の定数及び任期)

第 5 条 審議会の委員の定数は、30 人以内とする。

2 審議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

大船渡市立公民館規則 抜粋

(審議会の会長及び副会長)

第 5 条 大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 7 条 審議会の庶務は、中央公民館において処理する。

(補則)

第 8 条 この規則に定めるもののほか、公民館の運営に関し必要な事項は、教育長の承認を受けて、館長が別に定める。

大船渡市公民館運営審議会副会長の選任について

令和元年10月1日から副会長の職に欠員が生じているため、大船渡市立公民館規則第5条第1項の規定により、大船渡市立公民館運営審議会副会長の選任を求めます。

令和2年7月6日

大船渡市立中央公民館
館長 白石拓夫

職 名	氏 名
副 会 長	委員

報告第 1 号

令和元年度公民館事業の実施状況について

令和元年度公民館事業の実施状況について、別紙のとおり報告します。

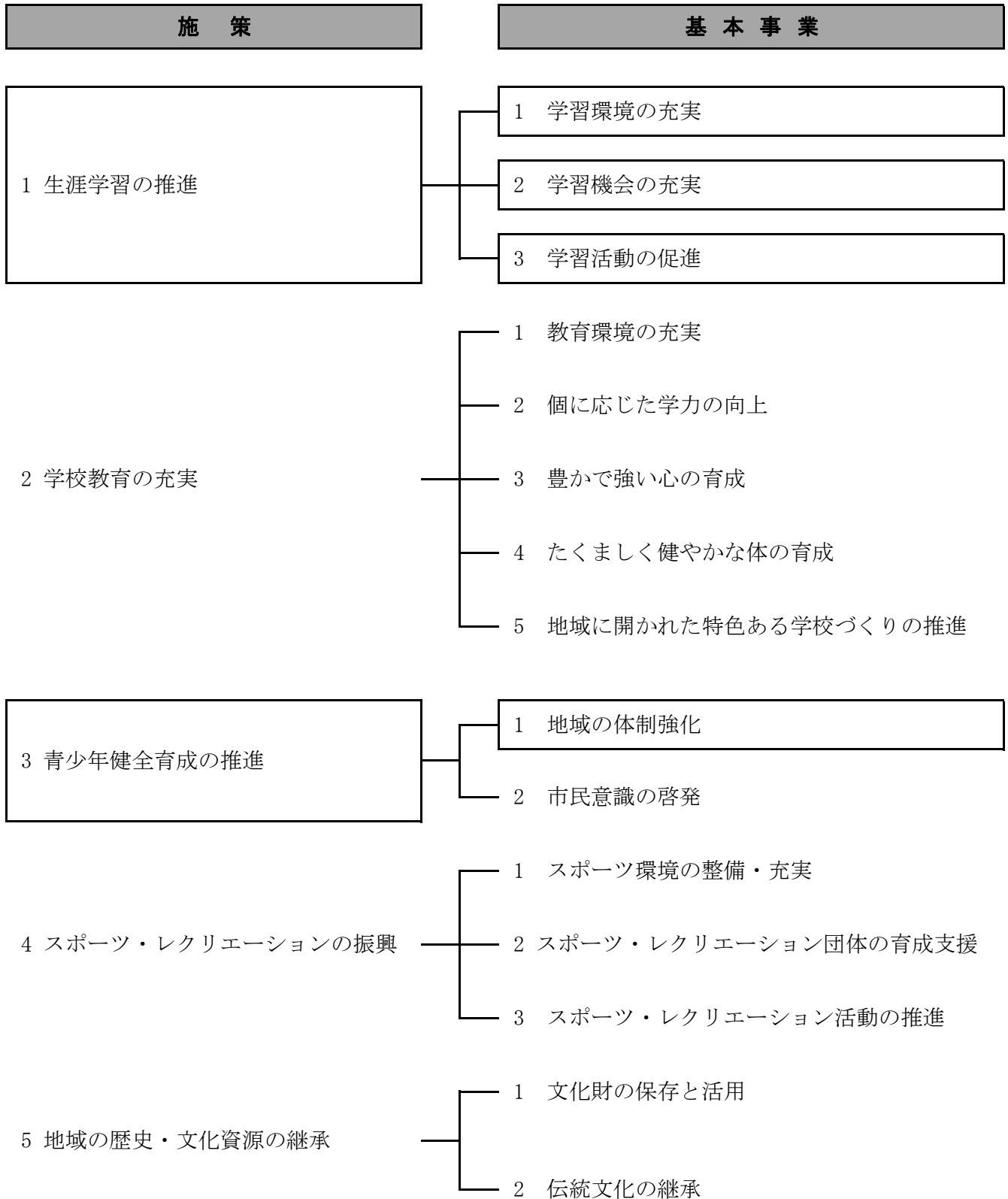
令和 2 年 7 月 6 日

大船渡市立中央公民館
館 長 白 石 拓 夫

大 船 渡 市 教 育 振 興 基 本 計 画

施 策 体 系

※ 中央公民館の所管は、□で囲われた部分



報告第1号 令和元年度公民館事業の実施状況について

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める。 ・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める。
(2) 学習機会の充実	・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る。
(3) 学習活動の促進	・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニューづくりに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する。

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
施設・設備の供用	通年	大船渡市民交流館・カメラアホール（利用者27,746名、1,646件） 三陸公民館（利用者12,194名、393件）
施設・設備の整備	6～8月	末崎地区公民館：雨樋修繕 猪川地区公民館：体育館照明器具修繕、事務室壁修繕 日頃市地区公民館：屋根雪止設置 三陸公民館：駐車場舗装（未舗装箇所）
施設の維持管理	4～3月	大船渡市民交流館・カメラアホール：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託 三陸公民館：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託
課 題		・施設・設備の老朽化に伴い、修繕等が必要な箇所が多くなっており、緊急度の高いものから対応するとともに、市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に更新・長寿命化を図る必要がある。

(2) 学習機会の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
生涯学習情報の提供	通年	市ホームページ、中央公民館報「カメラア」により学級・講座の情報等を提供
乳幼児学級	6～11月	開級式・8回学習会（講話、調理実習ほか）を実施（学級生18名、延べ参加人数95名、託児ボランティア登録者数25名）
市民講座（初級英会話講座を含む）	6～12月	【市民講座】 学習会（全5回）を実施（延べ参加人数178名） 【初級英会話講座】 学習会（全10回）を実施（受講者20名、延べ参加人数163名）
生きがいセミナー	5～12月	市内11地区で学習会（健康、防犯、ニュースポーツ、野外研修等）を実施（入学生710名、延べ参加人数2,208名）
ふるさと・おおふなとお話大賞	6～1月	大船渡を舞台にした創作童話を募集（応募作品22作品） 入賞者数／4名（大賞1名、特別賞1名、奨励賞2名） 市ホームページで作品集を公開
地域再生支援文化活動事業	5～2月	市内11地区で学習会（寄せ植え講習、ニュースポーツ等）を実施（延べ参加人数669名）
課題と見直し状況		【乳幼児学級】 市長部局の複数部署で類似した子育て支援事業を実施しており、所期の目的を達成したことから令和元年度で事業を廃止する。 【ふるさと・おおふなとお話大賞】 当初は旧三陸町中央公民館の読書推進事業として開始した事業であり、所期の目的を達成したことから令和元年度で事業を廃止する。

（３）学習活動の促進

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
地区公民館・地域公民館 役員等研修会	7/6	市長部局と共同開催。講演「地域自治を育む地域づくり～一関市の取り組み～」講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹氏 (参加人数53名)

【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(１)地域の体制強化	・地域の青少年育成組織や各地区・地域公民館、PTAなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。

（１）地域体制の強化

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
青少年体験学習事業（英語スクールを含む）	7～2月	【青少年体験学習】 ドローンのプログラミング・操縦体験、シュガーアート体験を実施（延べ参加人数33名） 【英語スクール】 ・4歳児～小学2年生までの児童を対象に2日間外国人英語指導助手による会話やゲーム等を実施（参加者数：40名） ・中学生を対象に1日間外国人英語指導助手によるゲームやプレゼンテーションを実施（参加者数：11名）
家庭教育学級	6～2月	小中学校・こども園等15箇所で実施（延べ参加人数1,030名）
課 題		・全事業において、日程の選定が難しい。（学校やこども園等の地域行事、クラブ活動、その他市内イベントとの調整により参加人数に影響がでる） 【家庭教育学級】 ・前年度と同様学習計画の立案段階で受け入れ側の小中学校の担当者との連絡調整が課題となっている。

協議第 1 号

令和 2 年度公民館の事業計画について

令和 2 年度公民館の事業計画について、別紙のとおり協議します。

令和 2 年 7 月 6 日

大船渡市立中央公民館
館 長 白 石 拓 夫

協議第1号 令和2年度大船渡市立公民館事業計画について

【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1)学習環境の充実	・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める。 ・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める。
(2)学習機会の充実	・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る。
(3)学習活動の促進	・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニューづくりに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する。

(1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
施設・設備の供用	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設設備の供用
施設・設備の整備	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設修繕等
施設の維持管理	通年	カメラアホール、三陸公民館の施設管理業務を指定管理者に委託

(2) 学習機会の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
市民講座（国際交流講座を含む）	9～11月	大学等と連携し、共通テーマに関する専門的分野（国際理解も含む）の学習機会を提供する。 〔対象〕 市民
初級英会話講座	9～11月	市民の国際コミュニケーション力の向上を目的に、初心者を対象とした英会話講座を開催する。 〔対象〕 高校生以上の市民
生きがいセミナー	9～11月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため、学習機会を提供する。 〔対象〕 市内11地区の高齢者（60歳以上）
地域再生支援文化活動事業	8～2月	学習や創作活動を通じて、住民相互の交流促進とコミュニティの形成を図る。 〔対象〕 市内11地区の住民

【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 地域の体制強化	・地域の青少年育成組織や各地区・地域公民館、P T Aなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。

(1) 地域体制の強化

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
青少年体験学習事業	8～1月	子ども達の自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供する。 〔対象〕小・中学生
家庭教育学級	8～1月	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する。 〔対象〕小・中学校、幼稚園・保育園・こども園のP T A、地域住民等